

第5学年国語科学習指導案

1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう「わらぐつの中の神様」

2 指導の考え方

子どもの実態

本校では、昨年度から国語科の「読むこと」の研究を進めてきている。そのため、子どもたちは、「読み通しの目～予見～学習計画～読み確かめ～読みのまとめ」といった問題解決的な学習過程を用いて学習を進めていくことにまだ慣れていない。また、昨年度の6年生を対象とした全国学力実態調査の結果から「情報を取り出す力」「解釈する力」「熟考・評価する力」のいずれの力も課題があることがわかった。

5年生の子ども達は、昨年度、半数の子を担当しており、物語文では「三つのお願い」「一つの花」「ごんぎつね」の学習をしてきた。その結果、ことばに立ちどまったり場面と場面をつないだりして人物の思いを読み取ることが少しずつできるようになってきた。しかし、文章に書かれてあることばがどういう意味なのか、どうしてそう書かれているのかを考えながら課題に対する自分の考えをまとめたり、文章を読み取ったことから自分がどう考えたのかをまとめたりすることができる子は少ない。また、文章の構成に着目しながら作者が伝えたいことを読み取ったり「1時間使って自分の考えを書き込む→次の1時間に書き込んだものをもとに話し合う」といった形態で学習をしたりした経験はない。さらに、「考え方や生き方」といったことについて考えた経験も少ないと思われる。

教材の特質

本教材は、人のために一生懸命にする心を大切に何十年も生きてきたおじいちゃん、おばあちゃんの考え方や生き方とその二人にまつわる話を聞いて感動するマサエの変容が描かれている作品である。

文章構成の特質としては、一行空きによって「現在1—過去—現在2」といった三つの場面から成り、おばあちゃんの昔語りを現在のマサエの姿で包み込んでいる構成となっている。また、現在2の冒頭に大工さんの言葉を組み込むことで、人のために一生懸命にする心を何十年も大切に生きてきたことを伝えようとしている。また、現在1と現在2を比べることによって、マサエの変容を読み取ることができるようにしている。

文章表現上の特質としては、おみつさんがわらぐつを編む姿を「ように」の繰り返しによって、はく人のことを一生懸命考えていることを伝えようとしている。また、「おれは、わらぐつをこさえたことはないけれども、～」の大工さんの会話文からもおみつさんと同じように人のために一生懸命にすることを大切にしようとする考え方がわかる。さらに、「かかえたまま」や「飛び出していきました。」から祖父母の考え方や生き方を大切にしようとするマサエの姿が表現されている。

指導にあたって

本単元の指導にあたっては、「読み通しの目～予見～学習計画～読み確かめ～読みのまとめ」といった問題解決的な学習過程を用いて学習を進めていく。単元名について確認した後、題名と冒頭から読み通しの目「①おばあちゃんはどうしてマサエにわらぐつの中に神様のいなった話をしようとしているのだろう。」「②おばあちゃんの話聞いてマサエはどうなるのだろう。」を生み出す。

全文を音読し、文章構成が「現在1—過去—現在2」となっていることをとらえさせた後、予見をまとめるようにする。読み通しの目①については、過去の昔語りを中心として、読み通しの目②については、現在2を中心にまとめさせていく。

読み確かめる段階では、おみつさんのわらぐつを編む姿と大工さんの言葉から二人の考え方の共通点を見つけさせ、一行空きの現在2の場面に大工さんの言葉が書かれている文章構成の工夫を考えさせながらおばあちゃんとおじいちゃんが大切に生きてきた生き方を読み取らせていく。また、「～この雪がたの中にも、神様がいるかもしれないね。」や「かかえたまま」という叙述を中心にマサエの変容を読み取らせていく。なお、読み確かめにおいては、自分の考えを書き込む時間を確保し、文章に書かれてあることばがどういう意味なのか、どうしてそう書かれているのかを考えながら課題に対する自分の考えをまとめることができるようにしていきたい。また、学習の終末では、今日の学習の欄に読み取ったことだけではなく読み取ったことから自分がどう考えたのかを書きまとめさせるようにする。

読みのまとめでは、学んできた読み方をふり返るとともに、「人のために一生けんめいにしようとする気持ち」について学校の中や家で、人のためにがんばっていることと比べながら自分が思ったことや考えたことをまとめさせていく。また、教師自身が自分の大切にしている考え方を話すことによって、「考え方や生き方」について子どもたちが考えることができるようにする。また、家の人が大切にしている考え方や生き方を取材させてみる機会も設けたい。

3 目標

- 人のために一生懸命にする心を大切に生きてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方と、その生き方に感動して変容するマサエの姿を読み取ることができるようにする。
- 文章構成の工夫やにた言葉と比べて読む読み方を習得することができるようにする。

4 本時（10／11）読み確かめ

5 本時の目標

- おばあちゃんの話聞いて、人のために心をこめることを大切にしようとするようになったマサエの
変容を読み取ることが出来るようにする。
- にたことばと比べて読む読み方を身につけることができるようにする。

6 本時指導の考え方

本学級では、読み通しの目を「①わらぐつの中に神様のいなくなった話とはどんな話なのか。」「②わらぐつの中の神様とはどんな神様なのか。」「③おばあちゃんは、マサエにどうしてわらぐつの中に神様のいなくなった話をしたのか。」「④マサエは、話を聞いてどうなるのか。」と設定した。そして、特に本時に関わる読み通しの目「④マサエは、話を聞いてどうなるのか。」については、予見の段階で、「マサエは、神様を信じるようになった。」「マサエは、神様を少し信じるようになった。」という意見に分かれたため、「～この雪げたの中にも神様がいるかもしれないね。」と「マサエは、赤いつま皮の雪げたをかかえたまま～」を中心に読み確かめていくように計画した。また、前時まで「おばあちゃんは、二人とも人のために心をこめようという考えを40年間大事にして生き続けていることをいいだろと言っている。」「神様とは、人のために心をこめようという気持ち」ということを読み取ってきている。

こうした過程をふまえ、本時は、おばあちゃんの話聞いて、マサエがどうなったといえるのか 読み確かめる学習である。前時では、学習計画にもとづきながら、自分の考えをある程度もって話し合いに臨ませるため、読み取ったことを書きまとめさせておく。その際、予見で出された「神様」については、「人のために心をこめようという気持ち」であることを確認しておく。

本時指導にあたっては、まず、学習のめあてを確認した後、マサエがどうなったと言えるのか数人の子に自分の考えを提案させる。その際、提案した代表児がどの文を中心に考えたのか、また、代表児の考えの共通点と違いは何かを明確にしておく。

次に、「～この雪げたの中にも神様がいるかもしれないね。」を中心にマサエがどうなったと言えるのか話し合う。その際、子どもたちは、中心文の「かも」ということばに着目して、「マサエは、人のために心をこめようという気持ちが少しわかった。」という考えをもつと予想される。そこで、雪げたは、おじいちゃんが買ったものであることを確認したり「～この雪げたの中にも神様 がいるかもしれないね。」という文を「～このわらぐつの中にも神様がいるかもしれないね。」と 比べて考えさせたりすることによって、マサエが人のために心をこめようという気持ちがわかるようになったことを読み取らせていきたい。

さらに、「マサエは、赤いつま皮の雪げたをかかえたまま～」を中心に話し合う際には、「かかえたまま」と「もったまま」というにたことばと比べさせ、どうしてマサエは雪げたを大事にそうにかかえたままだったのか考えさせることによって、人のために心をこめようという気持ちを大切にしようという思いになっていったことを読み取らせていきたい。

なお、代表児の考えについては、話し合いの中で、適宜ふり返らせ、その読みのよさや修正点を明確にしていきたい。

本時学習のまとめでは、読み取ってきたことからマサエがどうなったと言えるのか、そんなマサエを自分は
どう思うのか書きまとめさせていき、本時学習で学んだ読み方を確認していくようにする。

目標

○ 題名と冒頭から読み通しの目をつくることのできるようにする。

「めあて」と「題名と冒頭から読み通しの目をつくる」

人物の考え方や生き方をとらえよう
ある考え方を長年続けてきた // 生き方

「わらぐつ」の写真

「わらぐつの中の神様」

「わらぐつの中の神様」
杉 しみき子作
マサエ

「わらぐつ」

「マサエ」

「わらぐつはいい。わらぐつはいい。わらぐつはいい。」

「やだあ。わらぐつはいい。わらぐつはいい。」

「わらぐつはいい。わらぐつはいい。わらぐつはいい。」

「わらぐつはいい。わらぐつはいい。わらぐつはいい。」

「わらぐつの中の神様」

「わらぐつの中の神様」

「わらぐつの中の神様」

「そんな迷信でしょ。」

「ほんとうだよ。ほんとうだよ。」

「信じていない。信じていない。」

「それじゃあ、ひとつ、わらぐつの中の話をしてね。」

「読み通しの目の方向」

1 おばあちゃんにはどうしてマサエに話をしようか。
2 話を聞いてマサエはなるほどだ。

1 本時のめあてを確認し、単元名について話し合う。
※ 「考え方」を長年貫いたものが「生き方」であることを理解させる。

2 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

3 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

1 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

2 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

3 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

1 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

2 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

3 題名「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。
※ 「わらぐつ」のどの部分に話の舞台が設定されているか。

○目標 全文を読み通し、文章構成をつかむことができるようになる。

人物の考え方や生き方をとらえよう

わらぐつの中の神様 杉みき子 作

- ① 全文をすらすら音読できるよくなる。
- ② 全文がどのような構成になっているか考えよう。

意味調べする言葉

例

雪 げ た . . .
 市 . . .
 は な や か . . .
 よ そ お い . . .
 あ か ぎ れ . . .

文章の構成

現在 1
 おおばあちゃん
 マサエ
 おおあさん
 (おとうさん)

過去
 昔、この近くの村に . . .
 おみつさん
 大工さん

現在 2
 おおばあちゃん
 マサエ
 おおあさん
 (おじいちゃん)

1 本時のめあてを確認する。

2 範読を聞き、難語句の意味を知る。させるクラスの実態に応じて意味調べを

3 ※ 全文を音読する。姿勢や教科書の持ち方に気をつけ

4 ※ 文章構成をとらえる。文章全体は大きく三つに分かれます。一行空きにけを考えましょう。

※ T 三つにわけてみるものを二つと
 ドグ1にけらるものどれと
 と2の登場人物の頭か昔というこ
 と3の場面が
 現在「2の場面が過去1の場面が
 現在」であることをとらえさせる。
 あまたおみつさんがおばあちゃんす
 る。

○読み通しの目2に対する予見2をまとめ、学習計画をたてることができるようにする。

人物の考え方や生き方をとらえよう

わらぐつの中の神様 杉みき子 作

読み通し。くわしく読み確かめる予見1をまとめ、くわしく読み確かめる予見1をまと

「ふうん。ただけに、おっせいやんが買ってあげたんだから、これ雪がたの中にも、神様がいますかもしれないね。」

・・神様を信じるようになった。神様を少し信じるようになった。

読み通し。くわしく読み確かめる予見1をまと

- ① どの雪がたの中にも神様がいますか。
- ② 雪がたのなかからサエは飛び出したか。

1 本時のめあてを確認する。

2 読み通し。目2に対する予見2を書

※ 証分書に目2の予見2をま

※ 文線を見せると、さきよ

3 予見1と予見2を話し合

※ 予見1と予見2を話し合

4 予見2を確認する学習計画をた

※ 予見2を確認する学習計画をた

予見2を確認する学習計画をた

○話を聞いて、マサエが、人のことを一生懸命に考える心を大切にしているように
○似た言葉と比べて読み取ることができるようにつけることができるようにする。

人物の考え方や生き方をとらえよう

わらぐつの中の神様 杉みき子 作

「おぼあちやんの話を聞いてマサエは
どうなったのか読み確かめてよう。」

現在 1

「やだあ。わらぐつなんてみったぐない。」
「わらぐつの中に神様だつて。」
「そんなの迷信でしょ。」

過去

わらぐつの中に神様のいなった話

現在 2

「ふうん。だけど

「おぼあちやんのために
おじいちゃんのために
おせと働いたんだから、
買ってあげたんだから、
買ったものでも入って
いると言っている
この雪げたの中にも

神様が
いるかもしれないね。」

にた言葉と比べて読

マサエは、
「かかえたまま
大切にしよう
人を思う心を
大切にしよう」

「おかえんなさあい。」
とさげんでげんかんへ
飛び出していきました。

A 児の考え

B 児の考え

2 1 本時のめあてを確認する。
学習計画をもとに書き込みをする。

3 視点① ↓ 視点② ↓ マサエがどうなっ
たか、読み取るものと話し合う。

※書き込みをする
ため、以下の変更に
対応する。

(1) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(2) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(3) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(4) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(5) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(6) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(7) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(8) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(9) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(10) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(11) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(12) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

(13) マサエがどうなつたか、
書き込みをする。

○目標
読み取ってきたことから自分が考えたことをまとめ、読み方をまとめることができるよ

人物の考え方や生き方をとらえよう

わらぐつの中の神様 杉みき子 作

① わらぐつの中の神様のおばあちゃん
 めあての神様のおばあちゃん
 やおじいちゃんのことや考えたこと
 ら自分が思ったことや考えたこと
 まとめよう。読み方をふり返

② これまでに学習した読み方をふり返

わらぐつの中の神様
 おおばあちゃんや
 おおじいちゃんや
 人のために一生けん
 めいにしようとする
 心をずっと大切にし
 て生きてきた。

自分
 考えたこと
 とつたが

自分
 は
 学校の活動
 委員会の活動
 係の活動
 当番の活動
 家の手伝い
 お姉さん
 手紙

1 本時のめあてを確認する。

2 読み取ってきたことから自分が考えたこと

3 先生が大切にしてきたこと、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること

4 先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること

※ T 先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること

※ T 先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること

※ T 先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること、先生が大切にしていること